

# 和歌山県農業試験場

# ニュース

第125号

2015.7



イチゴ間欠冷蔵処理により‘まりひめ’を11月下旬から収穫

## 目次

### 研究成果

- ・和歌山県における大規模稲作経営の実態・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ・間欠冷蔵処理による‘さちのか’、‘まりひめ’の花芽分化促進技術・・・・・・・・ 4
- ・ダイコン黒芯症の発生生態と体系防除の効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ・マコモ栽培における雑草対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- ・ウラナミシジミに対する有効薬剤・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- ・有機物施用が水田の温室効果ガス発生に及ぼす影響・・・・・・・・・・・・・・ 10

### トピックス

- ・キヌヒカリ熟期の高温登熟性品種の選定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- ・平成27年度開催予定の研究会、成果発表会等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

## ご挨拶 「現場が動く試験研究であれ」

農業試験場では、現場の課題を踏まえ、農家所得の向上、本県農業の競争力をアップするために、日夜、試験研究に取り組んでいます。

最近では‘まりひめ’に次ぐイチゴの新品種やスプレーギクの優良系統など県オリジナル品種の開発をはじめ、各地域の特産作物の育成や温暖化等への対応、さらに病害虫防除、土壌肥料対策などの環境にやさしい技術の開発を進めているところです。

今後とも、農家の皆様をはじめJA等関係者と一体となって、「現場に直結した試験研究」、「開かれた試験場」に努めて参りたいと考えていますので、ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

(場長 木下繁慶)